



HUB - IBARAKI ART PROJECT 2024 始動

HUB-IBARAKI ART PROJECT

新たなスタートを迎える HUB-IBARAKI は、2024 年度より新ディレクター内田千恵を迎え、リニューアルして活動を行ってまいります。それに伴い、Web サイトもアップデートし、さらに充実した情報発信を提供いたします。ぜひ、新しい HUB-IBARAKI ART PROJECT にご期待ください。

HUB-IBARAKI ART PROJECT 2024 井上唯さんに決定しました

今年の HUB-IBARAKI ART PROJECT2024 において、愛知県出身・滋賀県在住の井上唯さんに決定、リサーチがスタートしました。

井上さんは、様々な土地でフィールドワークを行い、その地の自然や風土、文化、人々の生活を学び、のびやかな視点で作品を制作している美術家です。

2024 年度のプロジェクトは、4 月より開始、来年の作品発表に向けて約一年を通しての取り組みとなります。都市部からのアクセスが良く、住環境の良いイメージですが、茨木市の豊かな自然や、昔から地域の人々が紡いできたものをリサーチし、井上さん独自のアプローチによって地域の特性を学びながら活動していく予定です。リサーチの様子やトークイベントの情報など随時発信していきます。どうぞご期待ください。

ディレクター 内田千恵

[HUB IBARAKI ART PROJECT にむけて] 井上 唯



Photographer : YOLO

「街」から北へ向かって車を走らせると、高速道路やダムを挟んでいつの間にか「山」へと至る。その距離と時間の短さに驚きつつ、その間に現れた“土と木々とコンクリートが渾然一体となった風景”に目を見張った。大規模な土木工事による変化と速度が想像される一方で、これだけの自然がこの距離感で在ることに驚かされた。

近郊であること、交通の HUB であることの強みと危うさを併せ持つこの場所で、山、土壌、草木、田畑、害獣対策、竹林、里山、椿=親交木、未来、子どもたち、学校が HUB、地域活動、祭り、奉仕、循環、水、コンクリート、高速道路、土木工事、ダム、物流倉庫、住宅地など、この土地で出会った風景や、人々の言葉や姿勢、営みを手がかりに、この先の未来に小さな種を撒くように、少しでもこの地に根を張っていくような地道な活動が出来ればと考えている。

井上 唯 Yui Inoue

1983 年愛知県生まれ、滋賀県在住。2005 年愛知教育大学 教育学部 造形文化コース卒業。2007 年金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科染織コース修了。近年の展覧会 / プロジェクトに、「井上唯 / ITONAMI: 風景に向かって旗をかかげる」ギャラリーノイエ (長野, 2023 年)、「北陸工芸の祭典: GO FOR KOGEI 2022」那谷寺 (石川)「“ほの国”を知るためのプロジェクト」国際芸術祭「あいち 2022」(愛知, 2021-2022 年)「Soft Territory かかわりのあわい」滋賀県立美術館 (2021 年) など。

HUB-IBARAKI ART PROJECT について

茨木市の文化芸術振興事業として2013年に始動した「HUB-IBARAKI ART PROJECT」は、茨木市に暮らす人々が、現代アート作品・アーティストとの交流を通して、アートの本質的な魅力である「表現の豊かさ／美しさ」「探求心」に触れ、その体験をそれぞれの日常の中へ還元していくことをめざしたアートプロジェクトです。

2023年度、茨木市から茨木市文化振興財団に移管され、体制をリニューアルした本事業では、プロジェクトタイトルに含まれる「HUB」の意味／役割についても問い直し、新しい表現・活動が生まれる創造活動拠点の形成を射程に入れて事業展開していくことを23年度以降の課題の一つとしています。現代アートを軸として、異なる領域とのネットワークや市民との多様な関わりをつくっていくこと、また価値の定まっていない未知なる表現活動の実験の場を創出することで「未来につながる『文化のまち』いばらき」(茨木市の文化振興ビジョン(第2期))を共創していくことをめざします。

2024年度から実施される「HUB-IBARAKI ART PROJECT」では、ディレクター内田千恵のキュレーションによって1名(組)のアーティストを招聘し、先駆的なアートのプロジェクトに取り組みます。

ディレクターステートメント 内田千恵

HUB-IBARAKI ART PROJECT のリニューアルにあたり、2013年以降10年以上に渡って培ってきたアートプロジェクトとしての活動に加え、現代美術のHUBとしての役割を見つめ直し、茨木市から市外、県外、そして国外へと日英で発信し、同時に現代美術の情報を受信し、交流する場をつくっていきたいと考えています。

茨木市は、大都市に近接しながらも、豊かな自然環境に恵まれ、多様な背景・歴史・文化を持ち、さらに発展を続ける魅力的な場所です。茨木市での活動を中心に据え、アーティストとともに、コミュニティや他団体との連携を構築し、茨木市から生まれる美術が地域の枠を超え、開かれた場所となるよう目指していきます。

HUB-IBARAKI ART PROJECT の活動においても、常にエシカルな選択ができるよう努めてまいります。作品制作やプロジェクトの遂行において環境に配慮し、廃棄物を最小限に抑え、リサイクルを推進します。また、このプロジェクトに関わる全ての人々が公正な労働環境で働けるよう配慮し、アートにおけるエコシステムの改善に貢献していきたいと考えています。

これらの方向性をもとに、HUB-IBARAKI ART PROJECT は今後も挑戦し続け、人々と協働し、新しい出会いが詰まった場となりますように。

主催 | 公益財団法人茨木市文化振興財団

アドバイザー | 雨森 信 (2023-)

ディレクター | 内田千恵 (2023-)

<お問い合わせ>

公益財団法人 茨木市文化振興財団



HUB-IBARAKI ART PROJECT

567-0088 大阪府茨木市駅前四丁目6番16号

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)1階 文化事業係

TEL: 072-625-3055 (10:00~17:00)

E-mail: info@hub-ibaraki-art.com

FB: @HUBIBARAKIARTPROJECT X: @HubIbaraki Instagram: @hubibaraki_art

担当: 田中、坂元